

『美術資料』のために つくられた作品が表紙に!

日用品をまったく別のものに見立てて作品をつくる、ミニチュア写真家の田中達也さん。SNSやウェブサイト作品を毎日発表し続け、世界中に多くのファンを持つ田中さんが、『美術資料』の表紙のためだけのオリジナル作品を制作してくれた。



なんでも現代美術館



◀メイキング動画を
チェック



◀メッセージ動画を
チェック

『美術資料』を見ていたら、ふだん何気なく使う筆や絵の具などの画材が気になったんです。これらをヒントにして、美術館の鑑賞風景に見立ててみました。

もっと詳しく知りたい先生は『美術資料』の関連資料をチェック

『美術資料』が選ばれる理由

『美術資料』の特質や教科書との違いなどを紹介。選定理由を書くときの参考にも。

『美術資料』が選ばれる理由を詳しく紹介します!

『美術資料』の特質(教科書との違い) 深める 広げる 結びつける

- 1 深める 豊富で幅広い内容の挿絵や情報を読み、美術の学びを深める
 - ・美術作品や制作の手順など、美術・工芸・デザインに関する豊富な画像や情報を一覧まとめた「美術事典」
 - ・実際の制作現場の様子がわかる「現場レポート」
- 2 広げる 他教科との関連、教科横断的な学習も視野に入れ、視野を広げる
 - ・美術作品、彫や、実などを通して、社会科や理科、国語などの他教科の学習内容との関連、創造性や表現、芸術的な視点などについて、内容の充実を図るとともに関連項目にマークを付けて紹介
- 3 結びつける 美術の学びを身近な生活や地域社会と結びつける
 - ・「美術と生活」のページは、さまざまな分野の芸術家や作家の作品や、デザインのページでは、教科書には掲載していない、生活に身近な企業の商品や製品なども掲載
 - ・鑑賞のある地域では、特に地域の文化や美術に親しみやすい資料を充実

◎教科書との役割分担

教科書	『美術資料』
教科書は、基礎を定直し、教科に限定した内容を盛り込み、実用性を重視する。教科書の内容は、学習の目的に応じて編集	多様な材料や用途などを使った美術の技法、幅広い内容を取り入れ、実用性を重視する。教科書の内容を補完し、学習の目的に応じて編集

資料をチェック▶

おすすめQRコンテンツ&一覧

授業で活用しやすい、おすすめのQRコンテンツをピックアップ。

掲載項目	QRコード	内容
美術事典	QRコード	美術作品や制作の手順など、美術・工芸・デザインに関する豊富な画像や情報を一覧まとめた「美術事典」
現場レポート	QRコード	実際の制作現場の様子がわかる「現場レポート」
美術と生活	QRコード	さまざまな分野の芸術家や作家の作品や、デザインのページでは、教科書には掲載していない、生活に身近な企業の商品や製品なども掲載
美術と地域	QRコード	鑑賞のある地域では、特に地域の文化や美術に親しみやすい資料を充実

※画像はイメージです。

資料をチェック▶

新しい教科書でも安心!

◎各社教科書と『美術資料』との学習項目対照表あり

教科書	『美術資料』
教科書	『美術資料』

※画像はイメージです。

各社教科書と『美術資料』との学習項目対照表あり

教科書が改訂されても対照表さえあれば、新しい授業もスムーズに。

『美術資料』 長年使い続けられた「スタンダード」の良さと、学校現場の声を取り入れた「新しさ」が共存。

株式会社秀学社

https://www.shugakusha.co.jp/

大阪本社 〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5
TEL: 06-6695-1331 FAX: 06-6606-5171

東京本社 〒165-0026 東京都中野区新井1-2-16
TEL: 03-3389-4614 FAX: 03-3389-4618

九州支社 〒810-0022 福岡市中央区薬院3-11-14
TEL: 092-531-8268 FAX: 092-521-3938

東海支社 〒461-0004 名古屋市中区東1-13-18-7F-B
TEL: 052-979-7260 FAX: 052-979-7261

北海道出張所 〒001-0909 札幌市北区新築9-12-1-1
TEL: 011-764-1201 FAX: 011-764-0690

その他教材の情報は、
秀学社HPへ!



取り扱い代理店

心が動く、その先へ。
秀学社

特集

私も、使っていました!

炭酸デザイン室
テキスタイル
デザイナー
水野智章さん
若菜さん

特集 **私も、使っていました!**
炭酸デザイン室のおふたりが語る『美術資料』の魅力

現場の声に応じて、
QRコンテンツを強化!
どんどん進化するQRコンテンツを紹介



教科書とともに、長きにわたって美術教育を支えてきた副読本『美術資料』。その魅力を、炭酸デザイン室のおふたりにインタビュー。

「感性って、子どものうちから養われていくものだと思います」



滋賀県出身の水野若菜さんは、中学生のころ『美術資料』を使っていたそう。当時の表紙を見た途端、「あ！これ！」と笑顔で語ってくれた。

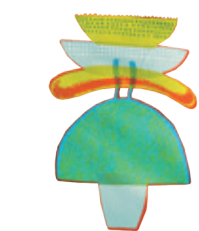
「中学生の時にこの本で見た作品を、大人になってから美術館で鑑賞したんですけど、やっぱり特別な感動がありましたね」

「改めて見ると、この本の中に自分の好きなものがたくさん盛り込まれていて。子どものうちにそうやっていろんな刺激を受けて感性を磨くことって、大事だと思います」



世界中の作品がいっぱい載っていて、いま見ても楽しいです。

気になったページをずっと見ていられるのが、本の良さですね。



炭酸デザイン室

テキスタイルデザイナー
右：水野智章（みずのともあき）
左：水野若菜（みずのわか）

「いつもの暮らしにシュワっとした刺激を。」をテーマに、テキスタイルデザイン事務所「炭酸デザイン室」を設立。日々の暮らしの中からインスピレーションを受け、テキスタイルを生み出している。国内外問わず活動の場を拡大中。



「自分のフィルター越しに見たものを描いています」

「ワクワクした気持ちとか、幼少期の素敵な思い出とか。そういう心が動いた瞬間の積み重ねが、その人の感性につながるんだと思います」と話す智章さん。



ふつうの家や木だって、時間を積み重ねると変化していく。ただ“見る”んじゃなくて、自分で感じる事が大切です。



▲「南の植物」壁画制作のメイキング動画をチェック

「私たちがつくるテキスタイルも、そういう感性の延長にあって。自分の好きなものや自分がおもしろいなと思ったものをテーマにつくっています」

近所の山や草木、散歩道など。日常にある何気ない情景やモノも、ふたりの感性を通してみれば生き生きと輝き、私たちを楽しませてくれる。



炭酸デザイン室から子どもたちへメッセージ

アートって、色や形を見ながら「これいいよね」とか「僕はこういうのが好き」とか話ができる、コミュニケーションツールなんです。世界中の人と民族を超えた関わり方ができるので、ぜひアートを通じて、世界に羽ばたいてほしいですね。そのためにはまず、自分の好きなものを突き詰めること。そして、なんでこれが好きなのか、理由を考える。そうすると自分のことも分かってきて、モノの見方も変わりますよ。



炭酸デザイン室のアトリエでは、英語学童やワークショップといった活動も行っている。

学びを支える、 生涯使える、美術資料



絵画や版画、彫刻、工芸、デザイン。
『美術資料』には、
みんなの気になるものが
ギュッと一冊につまっている。

それは、自分の「好き」を見つける
“入り口”がたくさんある、ということ。



詳しくはこちら▶

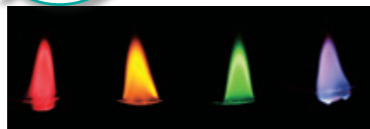
広げる

他分野との関連で、
美術の学びの視野を広げる

他教科とのつながり

他教科

■ 炎の色を利用して
金属などを炎の中に入れて高温で熱すると
炎の色が変わる反応のことを、炎色反応とい
う。花火の発色などにも利用されている。



P14 「光と表現」より

防災の役に立つ



防災

P153 「暮らしを心豊かにするデザインの力」より

基礎・基本を
しっかりおさえる！



P24-25 「用具大鑑鑑」、P32-33 「対象と向き合う」

限られた時間の中でも
学びが深まる！



P39 「水彩絵の具で描く」より

問いかけから
主体的な学びへ



P67 「ものの表情をとらえる」より

季節などをイメージした和菓子をデザインし、樹脂粘土でつくってみよう。

深める

豊富で幅広い内容で、
美術の学びを深める

分かりやすい
技法や制作過程

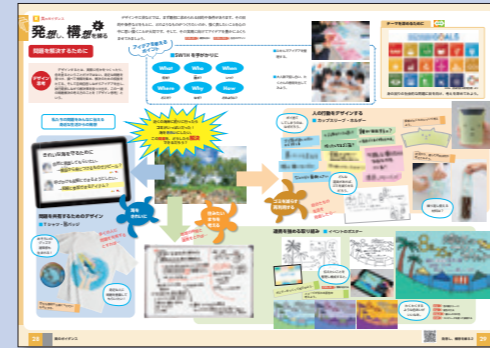


P12-13 「形や色をイメージに」

美術資料
どっどこむ

QRについてはp.6-7へ

充実のデザイン分野



P28-29 「発想し、構想を練る 2」

結びつける

美術の学びを身近な生活
や地域社会と結びつける

暮らしの中の美術に
目を向ける！

原寸大の図版で
実感的な鑑賞



P102-103 「原寸大美術館」



P8-9 「暮らしの中の色」

著者の
横田 学先生から
ひとこと

『美術資料』は美術の授業で使う教材です。
学んだことが生活の中で生かされたり、卒業後も
美術に関する座右の書として「手元に置きたい」
と思える本にすることを念頭に編集しています。

生活と美術のつながりへの意識や
子どもたちへの思いなど、炭酸デザイン室さんと
『美術資料』には共通点がありますね。



現場の声に応じて、QRコンテンツを強化!

技法の詳細や原理を、
分かりやすく教えたい。

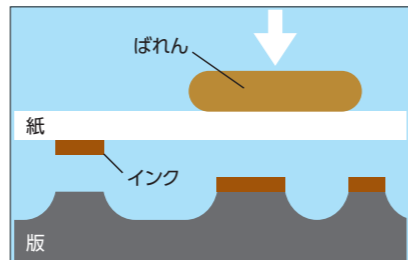
見るだけで理解しやすい、**技法動画**を豊富に用意。
ポイントをおさえた**アニメーション**動画もあり、原理がひと目で分かる。



美術資料 P12
【形や色をイメージに
(モダンテクニック)】
パッチ



動画をチェック▲



美術資料 P63
【いろいろな版画】
版画技法
凸版



動画をチェック▲

生徒が進んで見たいくなるような
鑑賞方法があれば…

作品を自分の好きな角度で、自由に動かせる**360°ビュー**
が充実。より主体的な鑑賞体験ができるように。



美術資料 P125
【形に込めた思い】
《シロクマ》 フランソワ・ボンボン



360°ビューをチェック▶

自分の暮らしと美術を、
結びつけて考えてほしい。

身の回りにある物の色や模様、形などに美術が関わって
いることを、豊富な画像を用いた資料で紹介。



美術資料
P150
【和の文様】
唐草



資料をチェック▲



もとなつたモチーフや暮らしの中での活用例などを掲載。

独自に行ったアンケートやアクセス分析などから、現場のニーズをしっかりとキャッチ。
先生方の「困った!」や「もっと!」に応じてQRコンテンツを充実させ、より納得感が高まるように。

短い制作時間で、深い学びを
得られる題材が知りたい。

準備物から、授業の流れ、評価方法までしっかりと考え
られた**短時間**題材を増量。**指導案**付きで授業にすぐ取
り入れられる。



美術資料 P39
【水彩絵の具で描く】
情景を描く
絵の具で心の空を描いてみよう



著者の
横田 学先生から
ひとこと
美術の授業では幅広い
創造活動が求められており、
限られた指導時間で
様々な内容を取り扱うためには、
指導計画の中に短時間題材を
うまく組み込むことが
ポイントとなります。



▲指導案をチェック

授業準備に役立つ指導案で、
子どもたちの学びをサポート!



QRコンテンツが
もっと見やすくなるというのに。

QRコードを読み込んだ先にある、**目次**を改良。**画像**や
アイコン付きで、どんなコンテンツがあるのかひと目で
分かりやすく。



※開発中につき、画像はイメージです。

Point このほかにも、授業に役立つ動画など、約100点のコンテンツが追加に!

- 
動画
約140点
- 
図版
約20点
- 
ワークシート
約25点
- 
解説
約15点
- 
360°
約10点
- 
用語辞典
1点
- 
コマ撮りアプリ
1点

紙面の内容を拡張できる
QRコンテンツがどんどん進化中。
『美術資料』本誌とあわせて活用できる。

現場の先生は『美術資料』をどう思っているの?

『美術資料』を採用してくださっている全国の先生方にアンケート調査を実施。
たくさん届いた「生の声」には、『美術資料』活用のヒントが!

『美術資料』の採用理由は?

- 技法、知識の説明のため
- 教科書の内容を補うため
- 鑑賞の教材として
- 使い慣れている

QRコンテンツはどれをよく使う?

- 動画
- 360°ビュー
- 作品・図版
- ワークシート

アンケート結果より

著者の
横田 学先生から
ひとこと

『美術資料』は
現場の意見や要望を
積極的に取り入れ、
先生方と共に創る資料集です。
今後の改訂にアンケートの
結果を生かすことはもちろんのこと、
さらに先生方の授業実践やアイデアなども
是非お聞かせください。

